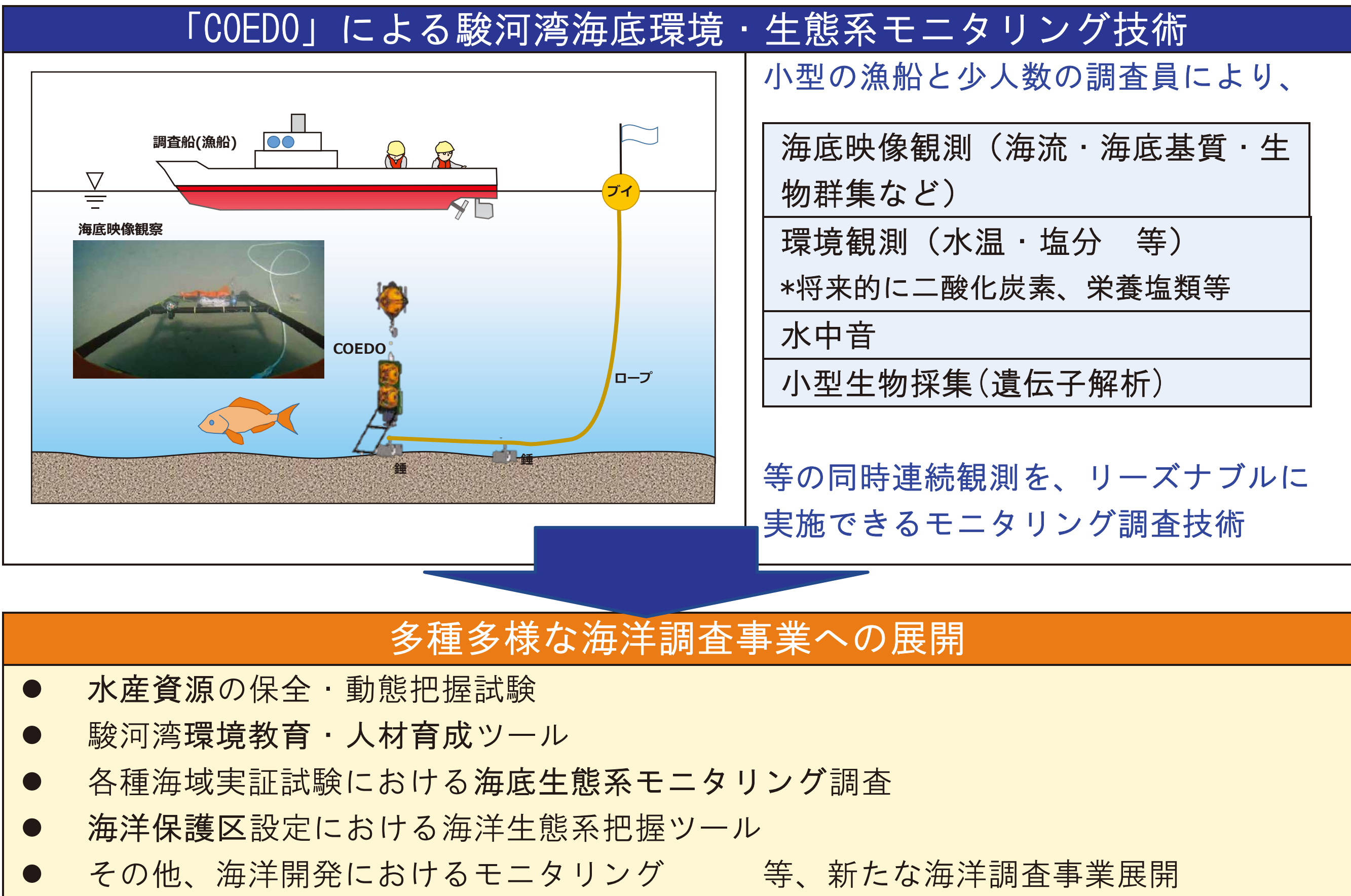


深海探査機「COEDO」及び環境観測マイクロデバイスによる 駿河湾海底環境・生態系モニタリング技術の開発

令和3～4年度海洋技術開発助成事業

事業者：代表事業者 いであ株式会社
共同事業者 海洋研究開発機構
東京工業大学

- 事業概要：深海探査機「COEDO」及び環境観測マイクロデバイスにより、駿河湾の海底環境・生態系モニタリング技術を開発する
- 成果：・駿河湾の大井川沖、相良・御前崎沖の4調査点においてCOEDOを用いて観測調査を行った。
- ・映像観測により、駿河湾の海底面性状、潮流などの特性が把握でき、さらに経時的な生物の蟄集状況が記録された。
 - ・COEDOに搭載した環境計測デバイスにより、観測調査点における水温塩分の鉛直分布など、映像以外の多項目の観測調査が実施できた。
 - ・本モニタリングシステムは、小型の漁船による人力での運用が可能であることが実証された。
 - ・本開発で得られた成果を海洋関連のシンポジウム（30th海洋工学シンポジウム）で講演し、事業成果の普及とPRを行った。
- 今後の予定：今後は、沿岸域での海洋開発関連事業に係る環境基礎調査、環境モニタリング調査、環境教育に適用できるものと考えられる。



○ここに注目：MaOIコーディネーターのコメント

海洋研究開発機構、東工大など国内最先端研究機関と共同することで、新規技術開発につながった。

今後、資源調査、海洋モニタリングなどにおいて、この技術を活用した新たな発見や知見の獲得など貴重な成果が期待される。